



ストーマケアをされるご家族・介護者の方へ（困った時のストーマ相談ガイド）

日本創傷・オストミー・失禁管理学会では、ご家族の方や介護を行う方がストーマケアを行っていく上で、心配なこと、困っておられることについてストーマ外来でのご支援を考えております。以下のような症状がありましたら担当の医師にご相談の上、ストーマ外来の受診をお勧めいたします。専門的な知識を持った看護師が医師と共に対応させていただきます。ストーマ外来受診時は、使用中の装具をご持参ください。

1. 皮膚障害（皮膚のただれや痒みの出現）

装具を装着している皮膚にただれや痒みを生じることがあります。原因としては排泄物の付着、交換時の手技不十分、細菌による感染症などが考えられ、現在のケア方法の見直しや治療の必要性が生じてきます。

2. 出血

装具交換時の刺激による出血は特に問題ありませんが、ストーマ袋に血液が溜まるような場合は早めの受診をお勧めいたします。

3. 頻繁な漏れ

装具より排泄物が頻繁に漏れる状況が続くと、皮膚への刺激が強まり皮膚障害を起こしやすくなります。また、頻繁に装具を交換することによりご本人はもとより、介護される方の負担や経済的な負担も生じてきます。頻繁に装具から排泄物が漏れるには何かしらの原因が存在しますので、装具の選択やケア方法の見直しを含め早めの受診をお勧めします。

4. 疼痛（痛み）

皮膚障害(皮膚のただれ)による疼痛は、排泄物の付着や装具交換時の刺激により、ご本人にとっては耐え難いものです。また、ただれた部分からの滲出液により装具がはがれやすくなるため、さらに漏れやすい状況が発生します。感染による疼痛はストーマ周囲に硬いしこりや赤みが生じ、装具装着や圧迫による疼痛の増強を認めますので専門的な処置が必要になります。

5. 腹痛

消化管ストーマの場合、便が出ないまたは水様便が続く、吐き気、嘔吐、腹痛の症状がありましたら、腸閉塞や腸炎を起こしていることが考えられます。また尿路の場合は尿量が急激に減少した、発熱、腹痛、背部痛があると腎盂腎炎等を起こしていることが考えられます。すぐに担当の医師に受診してください。

6. 不安

ストーマケアに疑問や不安を感じる場合は、専門家のアドバイスを受けることで解消できます。

《お近くのストーマ外来》

病院名	住所	電話番号	ストーマ外来日
	〒		
	〒		